

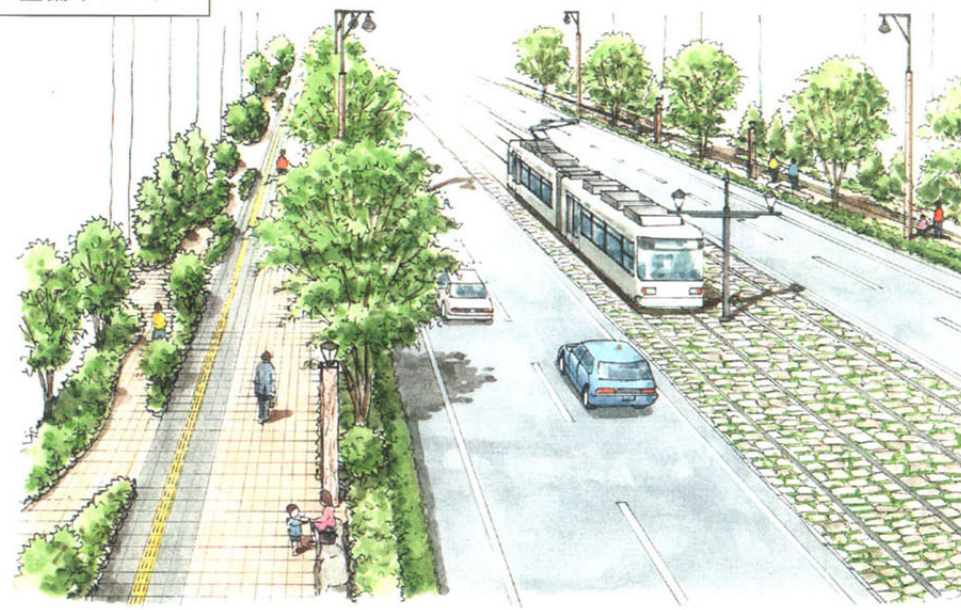
4. 道路空間整備計画

4-1 熊本駅北部線

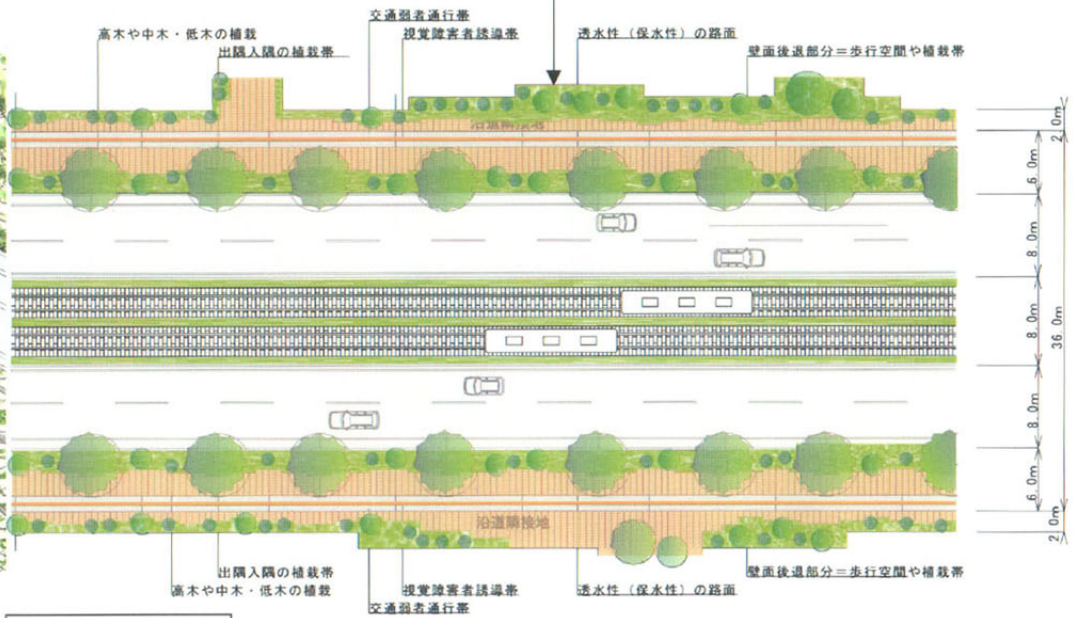
都心（新市街）と副都心（熊本駅周辺）を結ぶ“電車通り”としてゆとりと快適性をもたせた“森のみち”空間を提供

■出隅入隅による平面的な抑揚を備えた園路のような歩道デザイン
 ・6.0m歩道と沿道敷地の2.0m部分が一体となって、味わいのある園路を構成する。
 ・歩道植栽帯に凸凹の出隅入隅を構成すると共に、民地内部分の外構や植栽にも出隅入隅を取組むことで、視覚的な変化や空間的な抑揚を構成する。

整備イメージ

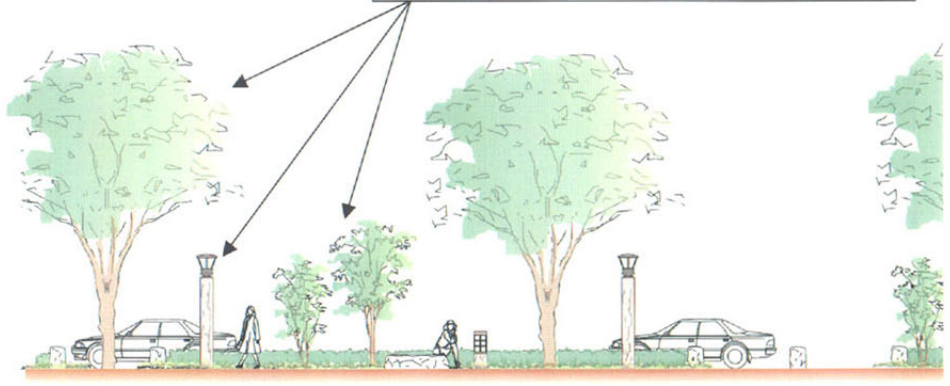


平面イメージ



通りのイメージ

■植栽と照明による立体的な抑揚を備えた施設配置デザイン
 ・高木、中木、低木、地被植物による様々な植栽と、石材による高さの異なる歩道照明及びベンチ等をバランス良く配置することで、立体的な抑揚（空間的な変化）を構成するデザインとする。



断面イメージ

